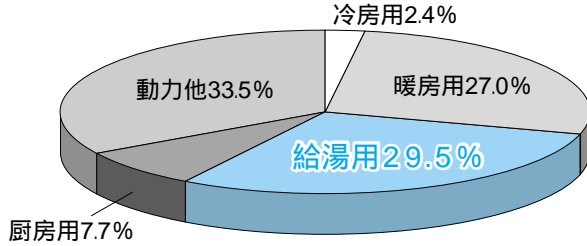


1 家庭部門世帯当たりの 用途別エネルギー消費割合



割合は四捨五入しているため、合計が100%とは合いません。
(出所：日本エネルギー経済研究所 エネルギー経済統計要覧2007)

省エネ・新エネで 地球温暖化防止

2 高効率給湯器

エコキュート

CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器「エコキュート」は空気中の熱を集めて冷媒に吸収させ、冷媒の熱を水に伝えてお湯を沸かす給湯器のことです。使った電力の3倍以上のエネルギーを得られると言われていま

エコウィル

ガスエンジン給湯器「エコウィル」は、ガスを燃焼させて家庭で発電し、電気を使用するとともに発電の際に生じた熱を利用してお湯を沸かす機器です。エネルギー効率が良く、マイホーム発電とも呼ばれています。

エコジョーズ

潜熱回収型給湯器「エコジョーズ」は、瞬間湯沸式の給湯器です。従来型機器では排気ロスとして大気中に放出されていた熱を回収し、利用することでエネルギー効

率を上げています。

太陽光発電
日本の平均的な家庭では、年間に約4200キロワット時(kWh)の電気を使用しています(省エネルギーセンターホームページより)。本市は全国的に見ても日照時間に恵まれており、住宅用太陽光発電システムを設置した場合、

注目が集まっています。
また、省エネに取り組み、出来るだけエネルギー消費を抑えることに加え、化石燃料を使わないエネルギー、特に太陽光や風力などの自然エネルギーの有効利用に、今大変

18へ。
申請要件、申し込み方法など、詳しくは市ホームページまたは環境政策課☎(632)2418へ。
本市では、自ら居住する市内の住宅にシステムを設置し、平成20年度に電力会社とシステムに係る電力供給契約を締結して事業が完了した(自ら居住するために市内のシステム付き住宅を購入した場合を含む)人を対象に、1kW当たり4万円、16万円を上限とした設置費用の補助をしています(申請のための要件あり)。

7月15日発行の広報紙特集号でも紹介しましたが、このまま地球温暖化が進むと、海水面の上昇や洪水の増加、氷の融解など、地球環境にさまざまな影響が出ると予測されています。
地球温暖化を防ぐためには、世界全体で二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出を抑制していく必要があります。今回は、皆さんが家庭のCO₂を削減できる機器を紹介し

本市の削減目標
本市は、2012年度の温室効果ガス排出量を2003年度に比べて、17%(市民1人当たり一年間にCO₂換算で約450キロ)削減することを目標に掲げています。
省エネ家電・高効率給湯器
前記特集号に対して皆さん

から寄せられた意見や提案のなか、CO₂を削減させるために実践していることの一つとして、「家庭で省エネ機器を使用している」というものがありました。エアコン・冷蔵庫・テレビなどの家電を省エネ家電に換えることは、家計にも地球にも優しい身近な温

暖化対策といえます。
また、家庭で使われるエネルギーの約30%はお湯を沸かすことに使われている(1参照)ことから、エネルギー効率の良い高効率給湯器を導入することも温暖化防止に高い効果があります(2参照)。

自動車の省エネ
自動車の利用による温室効果ガス排出量を減らすために、ハイブリッド車などの燃費性能に優れた自動車を使用することや、エコドライブを意識して運転することも、大切なことです。

新エネで温暖化防止
また、省エネに取り組み、出来るだけエネルギー消費を抑えることに加え、化石燃料を使わないエネルギー、特に太陽光や風力などの自然エネルギーの有効利用に、今大変注目が集まっています。

住宅用太陽光発電システム
設置費用を補助
本市では、自ら居住する市内の住宅にシステムを設置し、平成20年度に電力会社とシステムに係る電力供給契約を締結して事業が完了した(自ら居住するために市内のシステム付き住宅を購入した場合を含む)人を対象に、1kW当たり4万円、16万円を上限とした設置費用の補助をしています(申請のための要件あり)。

1 kWの設備で年間約1000 kWhの発電が可能のため、4 kWの設備を導入すれば、年間約4000 kWhの発電ができます。夜間などは発電できないため、使用電力すべてを太陽光発電で賄うことは難しいですが、晴天の日など、使用量よりも多く発電出来た場合には売電も可能です。
発電時にCO₂を排出しない太陽光発電の普及が地球温暖化防止に果たす役割は大きく、国は、2030年までに導入量を現在の40倍に増やすことを目標に掲げています。

地球温暖化防止について詳しくは、環境政策課☎(632)2404へ。